

ホッとハート

熱い心と癒しの心

鹿児島徳洲会病院広報誌

2010 冬号
Winter

新年ご挨拶

インフルエンザ・ノロウイルス
相談窓口 ソーシャルワーカー

介護事業部

通所リハビリテーション 訪問入浴

常に初心に立ち返り、時代に求められる役割を

鹿児島徳洲会病院 院長 飯田信也



当院では、従来から海外への留学研修を推奨してきました。私もその経験者の一人です。今までは、どうしても医師が優先的に研修を受けられる傾向がありましたが。しかし、今年には看護師をはじめとするさまざまな職種スタッフにも積極的に研修の機会をつくり、各人のスキルアップとともに、当院の提供する医療の質向上を図りたいと思います。

一方、国内の医療・介護・福祉に目を向けると、いわゆる社会的入院が医療費膨張の元凶ということで、入院患者さんの在院日数短縮など、病院機能の著しい急性期化に舵が切られました。ところが、受け皿となるべき在宅医療・重症期病棟・介護施設の十分な整備がなされず、医療難民や介護難民といわれる方が生まれました。加えて、高齢化社会の進展とともに、独居や老老介護世帯のお年寄りも増えています。そうした方々が、安心して暮らすことができる体制づくりも求められています。

本年は、県内のグループ病院をはじめ各施設と連携しながら、行き場のない方々を受け入れていく1年にしたいと思っております。その試みとして、電話一本で具

合の悪い方を病院に搬送する「ホスピタルカーシステム」や、低料金で人間ドックが受けられる「シルバードックシステム」を実験的に取り入れています。二十三年度からは、入院中のさまざまな疑問にお答えする「入院コンシェルジュ」の導入も計画しています。さて、当院は今年で開院から24年を迎えます。建物や機器も老朽化が目立ってまいりました。現在、念願であった数年後の新築移転に向けて動き出しています。

生活習慣病への対応、がん治療、総合救急診療体制のさらなる強化、認知症患者さんやリハビリを必要とされる方々などの介護分野との連携、将来のためとなる若い人材の育成、7対1の看護体制構築や専門性の高い看護師の養成など、これからの数年間でその基礎をつくるための課題が山積しています。

私たちは決して秀才や天才ではなく、ただの凡人です。努力や研鑽を怠れば、老朽化した建物と同様に、時代に求められる役割を果たすことができません。常に初心に立ち返り、みんなで死に物狂いで頑張っていきたいと思います。



明けましておめでとうございます。どうぞ本年も鹿児島徳洲会病院をよろしくお願いたします。

さて三月十二日、九州新幹線がいよいよ全線開通します。九州の「背骨」というだけでなく、青森から鹿児島まで日本の背骨といえるものが完成します。鹿児島から博多までは最速約1時間20分、新大阪まではおよそ3時間45分です。今もなお鎖国のように閉鎖したこの鹿児島に、人や物、情報などがとんとん

流れ込む大きなきっかけになるのではと期待しています。今まで「下荒田病院」として伸び悩んでいた当院も、これからは真の鹿児島徳洲会病院、鹿児島県の基幹病院としての役割を強化していくいいチャンスだと考えています。ところで、最近の円高は輸出に頼るわが国の産業にとって大打撃と捉えられているようです。ただ、見方を変えればこれも、海外に雄飛する千載一遇の機会と見ることができ

ます。

こころに届く看護

鹿児島徳洲会病院 副院長 吉崎和子



新年あけましておめでとうございます。

2011年 卯年。すばらしい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、皆様にとりましてどのような一年だったでしょうか。

平素から鹿児島徳洲会病院に對しまして、格別なご支援やご協力を賜りまして誠に有難うございました。心から深く感謝申し上げます。

さて、私は昨年12月1日付けで、鹿児島徳洲会病院の副院長を拝命いたしました。昭和63年8月、大隅鹿屋病院の開院から、お世話になっております。平成8年4月、鹿児島徳洲会病院に転勤となり、8年間勤務致しました。その後、6年間大隅鹿屋病院で勤務し、この度、久しぶりの勤務地となり、気分を新たに致しております。どうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。

鹿児島徳洲会病院は、昭和62年4月開院後、鹿児島県の中核病院としての役割を担って参りました。徳洲会の発祥の施設として、重要な位置づけがあります。開院後、24年が経過し、今まで多くの地域住民の方々に支えていただきました。この間、医療を取り巻く環境も非常に厳しくなり、様変わりしてきました。病院

の療養環境も、時代に合わなくなり、患者さまに多大なご迷惑やご不自由をおかけしている現状です。本当に申し訳なく思っております。

今後は、患者さまに満足していただくように、職員一同 努力して参ります。2011年は、3月12日、待望の九州新幹線が全線開通します。福岡・関西とのパイプが太く短くなり、政治・経済・医療・福祉・文化のあらゆる部門で、地域活性化に大きな効果をもたらすことでしょう。期待に胸が膨らみます。難島を抱えている鹿児島県にとって利便性は非常に重要です。本土最南端の地にありながらも、都市部と変わらない医療を完結することを目指している私たちに追いつく追い風となることは間違いありません。

今年一年、徳洲会の理念のもと、看護の原点をみつめながら「こころに届く看護」を提供できるように、邁進していきます。どうぞ、厳しくも温かくご支援賜りますよう、宜しくお願ひ致します。

皆様のご多幸とご健勝をこころからお祈り致しております。



日々の研鑽と努力を

鹿児島徳洲会病院 看護部長 肥後輝子



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

看護部では病院の基本理念を受けて、看護部の理念として「自然は人間に1枚の舌と2個の耳を与えた。だから我々は話すことの2倍聞かなければならない」という良い人間関係を築く為の本質をついた格言があります。私たち看護職は患者様のお一人一人の声を聞き、患者様のニーズにお答えできるように努力してまいります。また、この看護理念を基に個々の看護師は年間目標を定め、それを達成するための個人目標を決め、自己啓発に努めています。やさしさがなければよい看護はできませんが、やさしさだけでは良い看護はできません。新年を

迎え、新たな気持ちで今一度当院の基本理念・看護部の理念を心に留め、知識・技術・判断力・やさしさを兼ね備えた看護専門職として信頼され、皆様に喜んでいただける看護サービスを提供できるような研鑽を重ね、努力していきたいと思っております。皆様には引き続き、ご支援・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

アイデアの二年に

鹿児島徳洲会病院 事務部長 深川大功



新年あけましておめでとうございます。

お年玉と正月遊びを楽しみに、新年を指折り数えて待っていた子供ころはとつくにすぎたといえ、旭日さえる初日の出に一陽来復を賀し、新年を寿ぐと期すべきものが胸中に湧き上がってきて、身のひきしまる思いにかられます。

「1年の計は元旦にあり」といいます。本院の本年のめざすところ地域住民の皆さまからのさらなる信頼・満足感を得ることです。そのためには、どうすればいいか、公共性と経済性を念頭にまた診療やスポーツという分野でも地域貢献をさせていいただき更なる活性化を図るため、職員一同、「生命だけは平等だ」ともと、知恵を絞り、病院発展のアイデアを考えていく一年にしたいと情熱を燃やしています。

今年も旧年にもまして、慈しみ、共感、そして、感謝の心をもって、仕事に尽力したいと考えています。このことが、私たちがこの世に生を受けた意味でもあり、ひいては、患者さん本位の質の高い医療の提供がもたらすことと可能になると信じております。本年も鹿児島徳洲会病院をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

医療福祉相談のご案内

当院では、専門の職員（ソーシャルワーカー）による医療福祉相談を行なっています。
入院等に伴いお困りの事などありましたら、一階の総合案内コーナーまでお気軽にお申し出下さい。



正面玄関を入ってすぐ右に医療福祉相談窓口があります。

主な相談内容

- 高額医療費に関する払い戻し・貸付制度利用方法の説明
- 傷病手当金等申請方法の説明
- 非課税世帯の方の、食事療養費減額申請手続き方法
- 身体障害者手帳に関する申請と、障害者福祉のサービス内容等について説明
- 他病院への転院についての相談紹介
- 介護保険施設入所についての相談紹介
- 入院中の生活面に関する相談
- 生活保護申請についての説明

※以上の御相談内容以外でも入院中お困りの事がありましたら、お気軽にご相談下さい。



医療ソーシャルワーカー 米元智史 吉山健志

相談時間

月曜～金曜・・・朝 9:00 ～ 夕方 5:00
土曜・・・朝 9:00 ～ 昼 12:30
(日曜・祝日 休み)

※御相談は無料です。
※事前にお電話下さい。
※個人のプライバシーは固くお守りします。

●医療ソーシャルワーカー 担当者：米元智史・吉山健志

お問い合わせ

医療法人 **鹿児島徳洲会病院** TEL 099-250-1110
〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目8番1号

ノロウイルス

★ノロウイルス感染の特徴

ノロウイルスとロタウイルスはともに下痢、嘔吐を主徴とする胃腸炎をおこしますが、ノロウイルスはロタウイルスに比べ、幅広い年齢層が感染する傾向があります。秋から年末にかけてはノロウイルスが、1月～4月にかけてはロタウイルスが主に流行します。

ノロウイルスは、カキ等の二枚貝の生食による食中毒がよく知られていますが、わずかなウイルスが口の中に入ると、必ずしも感染する為、ヒトからヒトへの感染力も非常に強いウイルスです。乳児期から成人まで幅広く感染します。嘔気、嘔吐、下痢が主症状で、一般に症状は軽症です。ただし、老人や免疫力の低下した乳児では重症化して死亡することもあります。保育所、幼稚園、小学校などの小児や、病院、老人ホーム、福祉施設などの成人でも集団発生がみられることがあり、注意が必要です。

★感染経路

ノロウイルスの感染はほとんどが経口感染（口から体内に入り感染）であり、次のような経路があると考えられています。
●ウイルスに汚染された貝類を、生あるいは十分に加熱しないで食べた場合
●調理台や調理器具がウイルスに汚染されている場合や、ウイルスに感染した人が食品を取り扱ったことにより二次的に汚染された食品を食べた場合
●感染者を看病、患者の吐物、便などから直接感染するヒト・ヒト間の感染

★症状

潜伏期間（感染から発症までの時間）は24から48時間で、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛で、発熱は軽度です。通常、これらの症状が1～2日続いた後、治癒し、

感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。激しい嘔吐や下痢により急激に水分を失いますので、特に乳幼児や高齢者では脱水症状に気を付ける必要があります。

★治療方法

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。脱水症を防ぐため、市販のイオン飲料等で水分を少量ずつ、こまめに補給する必要があります。下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しません。

★予防方法

日頃からの予防方法としては、食事前やトイレの後などにおいて、せっけんを使ってしっかりと手を洗うことが大切です。食品中のウイルスは加熱により感染性をなくすことができます。食品の中心温度が85℃、1分以上になるようにしっかりと熱を通して食べましょう。下痢や嘔吐などの症状がある人は、食品を取り扱う作業を控えましょう。



★二次感染予防

患者の下痢便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれていますので、その処理には十分注意する必要があります。乾燥した嘔吐物や下痢便のかけらが風に乗って舞い上がり、そばを通ったヒトが吸い込みたり、その人の体に付着し最終的に飲み込むことにより感染する場合があります。下痢の症状がなくなった後も、患者の便には7日～長く1ヶ月ウイルスの排出が続くと考えられますので、症状が治まった後も安心はできません。汚物を処理する際には使い捨ての手袋を使用し、用便後や調理前の手洗いを徹底しましょう。殺菌には熱湯あるいは0.05から0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを使用します。アルコールや逆性石鹸にはあまり殺菌効果

果はありません。調理器具、衣類、タオル等は熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱が有効です。市販の塩素系漂白剤(通常は5から10%次亜塩素酸ナトリウム)なら50倍から100倍に薄めて使用します(例えば、原液10ミリリットルを1リットルの水で薄める)。

★汚物の処理方法

●患者の便や嘔吐物を処理するときは、使い捨ての手袋とマスクを着用する
●便や嘔吐物はペーパータオル等で取り除き、ビニール袋に入れる
●残った便や嘔吐物の上にペーパータオルをかぶせ、その上から50倍から100倍に薄めた市販の塩素系漂白剤を十分浸るように注ぎ、汚染場所を広げないようにペーパータオルでよく拭く

インフルエンザの基礎知識

★症状の違い

インフルエンザと「かぜ(普通感冒)」とは、原因となるウイルスの種類が違います。通常のかぜ(普通感冒)は鼻や喉の症状が現れますが、インフルエンザは急に38～40度の高熱がでるのが特徴です。さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。また、気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあり、体力のない高齢者や乳幼児などは命にかかわることもあります。

★インフルエンザの流行時期

日本ではインフルエンザは12～3月に流行します。これは、温度が低く乾燥しが長生きできるからです。また、乾燥した冷たい空気の影響で私たちの鼻の粘膜が弱っています。年末年始の人の移動で、ウイルスが全国的に広がるのも

ひとつの原因だと言われており、これらの原因が重なって流行しやすい時期となっています。

★インフルエンザの感染様式

通常のかぜ(普通感冒)のウイルスの感染様式は「かぜウイルス」のなかでも最も多いインフルエンザの場合「特に手から手による接触感染の頻度が高い」といわれています。それに対して、インフルエンザウイルスはくしゃみや咳、痰などで吐き出される微粒子(飛沫)を他の人が吸い込んで感染する「飛沫感染」が中心です。

★日常生活で出来る予防法

日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、加湿器などを使って室内を適度な湿度に保つことは有効な予防方法です。

- 1 栄養と休息を十分に取る。体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。
- 2 人ごみを避ける。病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。
- 3 適度な湿度・湿度を保つ。ウイルスは低温、低湿度を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空中を漂っています。加湿器などで室内の適度な湿度を保ちましょう。
- 4 外出後の手洗いとうがい。手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥を防ぎます。
- 5 マスクの着用。ハイリスク群などどうしても予防が必要な方はマスクを着用しましょう。罹患した人では、咳やくしゃみの飛沫から他人に感染するのを防ぐ効果もあります。「人に対して」という意味で「エチケットマスク」などといわれることもあります。



介護事業部 訪問入浴のご紹介

訪問入浴とは

寝たきりの高齢者や重度の身体障害者の方で、家族（介護者）の介護だけでは自宅で入浴することが困難な方々に対して、定期的に移動入浴車が利用者宅を訪問し、室内において入浴サービスを提供することをいいます。このサービスは、利用者の身体を清潔にし、また、疲れを癒し、精神的な緊張をほぐすとともに、家族の介護の負担も軽減されます。

訪問入浴の流れ



ご自宅へお伺いします!
訪問入浴車は鹿児島市ならどこでも駆けつけます!

浴槽セッティング
お部屋に洋風の浴槽を組み立てお湯を溜めます!

健康管理チェック
入浴できるかどうかのチェックを看護師が行います。

ベッドから浴槽へ
スタッフ二人組みで浴槽まで移動します。

入浴開始
体の隅々まで丁寧に洗います（男性は髭剃りも）

浴槽洗浄
必ず入浴が終わったら浴槽を洗います次の方の為に

健康管理チェック
入浴後に再度健康管理チェックをします。

終了
入浴し血行が良くなり汗をかき綺麗に洗ってグッスリ



1回あたりの費用

通	常	12,500円
介護保険サービス		 1,250円

お問い合わせ

●鹿児島徳洲会介護センター 〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田4丁目11-3 さえきビル2F
TEL 099-250-0890 FAX 099-285-4958 ●デイケアサービスセンター TEL099-253-2076
医療法人 **鹿児島徳洲会病院** TEL**099-250-1110**
〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目8番1号

通所リハビリテーションのご案内

通所リハビリテーションとは看護や介護が必要な高齢者の方々が、家庭や地域で自立した生活を営むことができるように援助するサービスです。また、ご家族の「介護負担の軽減」を行います。

通所リハビリテーション1日の流れ

9:30	健康チェック
	お茶の時間
	創作活動
	短期集中リハビリ訓練
	入浴、口腔体操
12:00	昼休み
	休憩・自由なくつろぎ時間
	集団レクリエーション
	個別リハビリ
15:00	お茶の時間
15:35	送迎

リハビリテーション



- 短期集中リハビリを行ないます。専門の作業療法士・理学療法士・言語療法士による機能回復訓練を行います。(20分~40分)
- 高齢者むきのトレーニングマシンを導入し個別的にトレーニングを行っています。
- 身体機能・日常生活動作の機能回復訓練・痛み・しびれの緩和を目的とした物理療法機器(ホットパック、マイクロ、干渉波など)を設置しております。

お問い合わせ

●鹿児島徳洲会介護センター 〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田4丁目11-3 さえきビル2F
TEL 099-250-0890 FAX 099-285-4958 ●通所リハビリテーション TEL099-253-2076
医療法人 **鹿児島徳洲会病院** TEL**099-250-1110**
〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目8番1号

当病院の診療体制・診療科目

■先生の学会出席や緊急手術のために、時間が変更になる場合があります。
 ■最新の予定は、<http://www.kagotoku.jp/Schedule.htm> をご覧ください。

TEL 099-250-1110 FAX 099-251-2237

曜日	時間	月		火		水		木		金		土	
		9~12時	17~20時	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時
総合診療科	1 診	丸山	緒方	大塚	丸山	二宮	二宮	中井	北園	田口	大塚		当番
	2 診	中野		二宮		丸山		丸山		大塚		当番	
	3 診	緒方		緒方		緒方		緒方		緒方			
	4 診	飯田		飯田		飯田		飯田		飯田		飯田	
	6 診	明瀬		明瀬						明瀬			
	循環器科	北園		北園				北園		北園		北園	
	消化器科	大塚		荒深		中村		荒深		中村		二宮	
	糖尿病科	緒方		緒方		緒方		緒方		緒方			
外科	中村	当番	脇山	当番	中村	中村	脇山	当番	中村	当番	脇山	当番	
外科 (消化器・乳腺・肝臓)							荒深						
心臓血管外科					澤谷				澤谷				
形成外科	崎戸				崎戸				崎戸				
整形外科	飯田		須佐		飯田		飯田		飯田		飯田		
脳神経外科	北川		北川				北川						
泌尿器科			北島		北島		北島						
小児科	後山	後山 (14~20時)	後山	後山 (14~17時)	後山		後山	後山 (14~20時)	後山	後山 (14~17時)	後山	後山	
眼科						本田 (14~17時30分)							
放射線科	新野 (9~13時)	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野	

鹿児島徳洲会病院への交通アクセス



バスをご利用の際は下の番線を参考にしてください。

- 荒田八幡バス停より徒歩3分
 - 市営バス 14 15 18 19 28 29 30
 - 鹿児島交通 1 2 4 5 6 7 8 14 15 23 32
- 下荒田四丁目バス停より徒歩1分
 - 市営バス 27
- 与次郎ヶ浜バス停より徒歩3分
 - 市営バス 12 31 32

鹿児島健康友の会に入会しませんか

鹿児島健康友の会は会員相互の親睦・生きがいのある人生を送ることを目的とした会です。

会員の特典いろいろ

- 1、各種スポーツ大会や遠足、レクリエーション、各種クラブ活動などへ優先でご案内します。
- 2、医療・年金相談・医療講演・福祉講演・健康相談の開催を優先でご案内します。
- 3、入院による個室の割引をいたします。
- 4、人間ドックの割引サービスがあります。
- 5、予防接種の各種割引を実施しています。

健康友の会の会費

年会費 1,000円 (1世帯)

申込みは 事務局 (鹿児島徳洲会病院内) 鹿児島健康友の会へ